



迎春 2021

あけましておめでとうございます。
今までにない年末年始を迎え、地球上がコロナに悩まされています。一日も早く終息の目処がつくことを祈るしかありません。

当店では、昨年5月より、コロナ禍でも楽しめるイベントをと、スタッフ一同アイデアを出しながら取り組んできました(詳しくは12月号vol270)。どの企画も絵本専門店ならではの内容だったと自負しておりますが、何よりお客様とのつながりや、お客様同士の素敵な出逢いが多々あり、このようなときだからこそ、みなさんに喜んでいただけたと思っております。

さて、新年に入り早々に、新企画に取り組んでおります。

2010年に絵本作家としてデビューされた松本春野さん(いわさきちひろのお孫さん)の『ライフ』の原画展です。デビュー後初めての講演を当店主催で行いました。当時は山田洋次監督「おとうと」が上映されており、その関連絵本『おとうとI』『おとうとII』

※ホームページでも紹介しています。「みやがわ書店」で検索するか下のQRコードで



えほんと童話の店 **みやがわ書店**
〒519-0505 三重県伊勢市小俣町本町163(JR宮川駅前)
電話・FAX 0596-22-4317 Eメール ehonbaba@gmail.com
定休日 毎週日曜日・木曜日 営業時間 AM10:00~PM6:00
ホームページ <https://www.miyagawaehon.com>



の出版記念講演となりました。その後、NHK放送番組より『モタさんの言葉』シリーズや『ふくしまからきた子』シリーズなど数多くの本を出されています。

今回はコロナのため来ていただくことはできませんが、**1月24日(日)に「オンライン」で春野さんと当店を結ぶ「お話し会」**を計画しております。(詳しくは当店ホームページ又は店頭へお問い合わせください。)なお、原画展中には、現在出版されている春野さんの絵本作品もとりそろえております。みなさまのご来店をお待ちしております。本年も更に素敵な出逢いを! (孝子)



今回は、「おとうさん」からの声です!

私は三児の父親です。絵本との出会いは幼少期、母から読んでもらった「ぐりとぐら」、「おでかけのまえに」、「ノンタン」が記憶にある。母が幼稚園教諭だったこともあり、絵本には親しみがあったように思う。「**絵本はアルバムのようなもの**」。絵本に出会った時のこと、読んでもらった時のこと、読んでもらった人、場所…。絵本を開けばその時の情景が浮かんでくる。私の場合は母であり、祖父、祖母と暮らした建て替える前の実家の情景だ。

そんな私は、大人になった今、**第二の絵本との出会い**を迎えた。それは妻の影響が多分にある。もともと絵本が好きだった妻。そのおかげで、我が家には数え切れないほどの絵本が本棚を埋め尽くしており、その中には、私が親しんだ絵本が子どもたちに買った新しいものとして並んでいる。今、私は三人の子どもたちに、主に夜、絵本の読み聞かせをしている。妻も毎日読み聞かせをしていたおかげで、子

どもたちは自然と絵本が好きになり、絵本がある生活が当たり前になった。

そして、子どもに読み聞かせする本とは別に、自分用に買った絵本も多くなってきた。私たち夫婦の選ぶ本は、作品選びが全く違う。でも、その違いがまた面白く、結果、子どもたちが絵本と出会う幅を広げているのだと思う。

絵本はしばしば、寝かしつけのためや、教育のためと言われることがある。もちろんそのような面もあるだろう。しかし、私は絵本に対し、**子どもたちとのコミュニケーションツールとしての素晴らしさ**を感じている。絵本の中で繰り広げられる出来事を、実際に一緒に体験したり、一緒にやったことを逆に「絵本と一緒にだね」と話すこともあり、現実を絵本と重ね、楽しむことで、それがまた絵本の情景と重なり、そして家族の思い出ともなる。

最近は絵本好きの人との交流も増え楽しい限りだ。けれどそれはネットを介してのことであり、もつと**身近に仲間を増やしたい**と思う今日この頃である。(中津一良)



お知らせ

2021 1

日	月	火	水	木	金	土
					1 休業日	2 休業日
3 定休日	4	5 お話し会	6 紙芝居 ピッポの会 ミニ講座	7 定休日	8	9
10 定休日	11	12 大人のための 絵本の時間	13	14 定休日	15	16
17 定休日	18	19 お話し会	20	21 定休日	22	23 お話し会
24 オンライン お話し会	25	26	27	28 定休日	29	30
31 定休日	1/20~2/28 松本春野原画展					



おはなし会

5日(火) 11:00~
19日(火) 11:00~
23日(土) 14:00~

大人のための絵本の時間

12日(火) 10:30~

紙芝居ピッポの会

ミニ講座

6日(水) 13:30~

お知らせ

二見正直作品展

2021年1月2日~12日
CAFEめがね書房にて
(度会郡大紀町野原576-2)



「ルラルさんの つりざお」
いうひろし
ポプラ社 1,430円 (税込)

「ルラルさんシリーズ」30周年!!ルラルさんはちょっと偏屈で怖そうだけど、料理上手で音楽好き。大きな庭のある家に一人で住んでいるけど、愉快的仲間が沢山いて、みんながルラルさんのところにやってくると、いつも思いがけない面白いことが起こります。さて今回は…?



「よんひゃくまんさいのびわこさん」
梨木香歩 作
小沢さかえ 絵
理論社 1,760円 (税込)

2,000万年前、大陸から分離した日本列島。400万年前辺りから琵琶湖が出現。少しずつ移動しながら今の姿に。長い年月をかけた自然の変化と、生き物の思いを物語ってくれます。そして、淡い色調の絵からは、優しく穏やかな湖の印象が伝わります。静かに生き物たちを受け入れる寛大な琵琶湖の物語。

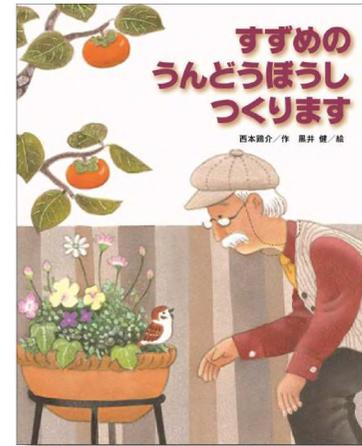
新刊紹介

タイトル
二見正直



「氷上カーニバル」
あべ弘士
のら書店 1,760円 (税込)

大正から昭和にかけて札幌市で行われていた「氷上カーニバル」を、あべ弘士さんの楽しい絵で再現。雪に閉ざされた冬の終わりを祝うため、スケートリンクに人々が集まって、仮装に花火に音楽に…とても楽しい夜のお祭り。北の国ならではのファンタジーなお祭り。



「すずめのうんどうぼうし
つくります」
西本鶏介 作
黒井 健 絵
金の星社 1,485円 (税込)

ぼうしやおじいさんは、庭に来たすずめに声をかけます。「とびっこくらべ」の練習をしていると言うすずめを応援したくなり、ぼうしを作ってあげました。すずめが大好きな作者西本鶏介さん。「童話の素晴らしさは小鳥とだっておはなしができ、友達になれることです。」といいます。



「怪物園」
junaida
福音館書店 1,980円 (税込)

街の通りには怪物たちが行進していて、子どもたちは外で遊べなくなりました。家の中ですっかり退屈。空想の旅に出掛けることにしました。でもこの怪物たち、よ〜く見ているとユーモラスでかわいい。何をしようとしているのか、黙々と歩いて、そして最後には…装丁も凝ってます。

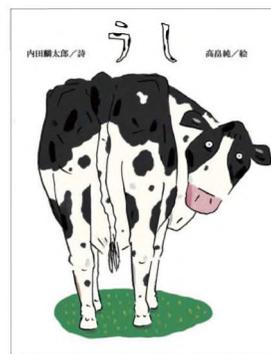
大人コース



「世界 幻想とファンタジーの情景」
パイインターナショナル 2,035円 (税込)

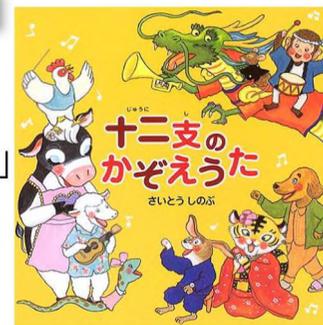
コロナ禍で自由に旅行ができなくなりました。そこで、本を眺めて旅気分はいかがでしょう。この本は不思議で幻想的な場所へと連れて行ってくれます。ノーンハーン湖(タイ)のうっとりする景色…かと思えば、デスヴァレイ(米国)のむき出しの地表と宇宙への繋がり。シャー・チェラーグ廟(イラン)の繊細で荘厳な人工物。ラコツ橋(ドイツ)のように自然と人間知の調和にも驚かされます。また、ラレンガルゴンバ(中国)の日々の営みをファンタジックな風景として切り取る写真の力。まだまだたくさんの情景が！まずは目次の世界地図。どこから旅を始めますか? (さつき)

年始めにいかが?

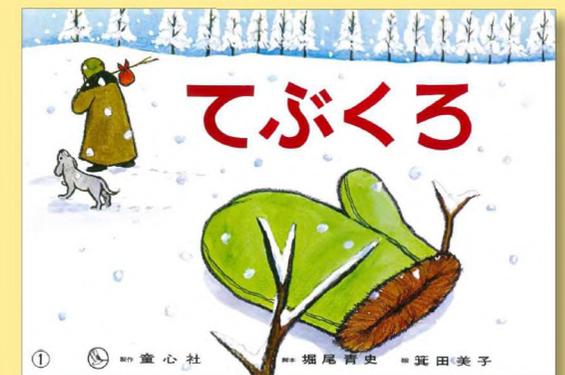


「うし」
内田麟太郎/詩
高畠純/絵
アリス館 1,430円(税込)

「十二支のかぞえうた」
さいとうしのぶ
佼成出版社
1,430円(税込)



おすすめの紙芝居



「てぶくろ」ウクライナ民話 12場面
脚本 堀尾青史
画 箕田美子
童心社 2,090円 (税込)

しずかなもりの雪の上に、おじいさんがおとしていったてぶくろがひとつ。はじめにネズミがやってきて中に入り、つぎにカエルが、つぎにウサギがやってきて…